

|| 企業調査レポート ||

## アルファパーチェス

7115 東証スタンダード市場

[企業情報はこちら >>>](#)

2025年8月12日(火)

執筆：アナリスト

山本泰三

FISCO Ltd. Analyst **Taizo Yamamoto**



FISCO Ltd.

<https://www.fisco.co.jp>

## アルファパーチェス：大企業向け間接材購買 PF で強固なポジション、 解約率≒0%で成長予見性が高い

設備・機械の修理用備品やオフィス備品などの間接材購買プラットフォーム「APMRO」を運営する MRO 事業と商業施設のメンテナンスなどを行う FM 事業を展開しているアルファパーチェス<7115>は8月8日、2025年12月期第2四半期決算を発表している。売上高は前年同期比6.9%増の28,631百万円、営業利益は同27.4%増の717百万円となり、通期利益予想を上方修正している。

### 「無限カタログ」の推奨品への 自動置き換え機能による販売が極めて好調

#### 1. 2025年3月期第1四半期決算の概要

2024年12月期の売上高に対して、間接材購買のためのシステム提供と物品販売を行う MRO (Maintenance, Repair & Operations) 事業の売上が約74%を占め、残りは FM 事業やその他が占める。MRO 事業の顧客は、製造業・建設業やサービス・小売業が多く、トヨタ自動車、SONY、関西電力、三菱地所など大企業直販が8割を上回ってきている。残りは中小事業所向け再販(アスクル経由の売上高)で構成される。プライム市場に上場している企業を中心とした大企業群が同社の顧客で、大企業直販の顧客解約率はほぼ0%のストック型ビジネスである。MRO 事業は昨年末に新規導入した「無限カタログ(電子カタログ)」の推奨品への自動置き換え機能による粗利益の増加が想定以上となり、売上高で前期比12.2%増の22,776百万円、セグメント利益で同68.5%増の574百万円となった。無限カタログは、同一商品に複数の価格提示があり、コスト競争力が強いサプライヤーへ売上集中(サプライヤーの意欲向上)、サプライヤーの売上拡大による同社の粗利率改善が可能となる。一方、商業施設向けにサービスの提供を行う FM (Facility Management) 事業は、インバウンド需要により顧客の業績こそ好調であるものの、好調な需要を背景に営業を止める必要がある改装工事を控える傾向があり、売上高で前期比9.4%減の5,847百万円、セグメント利益で同40.3%減の110百万円となった。

#### 2. 2025年12月期の業績見通し

2025年12月期は、売上高で前期比10.8%増の61,975百万円、営業利益で同13.5%増の1,410百万円の従来予想について、営業利益以下を100百万円ずつ増額修正しており、営業利益で同21.5%増の1,510百万円とした。FM 事業の第4四半期売上見通しがまだ不透明だが、MRO 事業売上増でカバーできると考え、期初の通期売上見通しは変更せず、上期の MRO 事業の利益率上振れを反映した格好。

## 2029年12月期の目標は売上高1,000億円、営業利益率3.5%、ROE20%以上

### 3. 中期経営計画、類似企業との比較、株主還元

大企業向け MRO 市場の市場規模は約1兆円だが、既存の電子カタログで取引される領域（同社の既存事業領域）の市場規模は約4,000億円程度となる。同社は引き続き既存領域での成長を軸として市場シェアの拡大を図るようだ。ただ、電子カタログ掲載品で価格交渉が必要な領域や、電子カタログ非掲載で対面販売や入札型見積購買システムで取引される領域などにも将来的に対応できるように、「問合せ機能」を APMRO システムおよび無限カタログに追加搭載していく。強固な顧客基盤を有して今後も大企業グループへの売上拡大とともに認知度拡大が進むことで、持続的な成長が期待されそうだ。実際、大企業グループへの売上高は、年を追うごとに大きくなる傾向があり、機能の向上がその傾向に拍車をかけることになる。

また、厳密な意味での類似企業はないが、Monotaro <3064> の数値は確認しておいても良いだろう。Monotaro は ROE25% 超、今期予想の営業増益率で前期比 16.0% 増が予想されており、予想 PER で 45 倍の評価だ。アルファパーチェスの ROE は 15% 強であるが、利益成長は 21.5% 増、予想 PER29 倍となる。アズワン <7476>、ミスミグループ本社 <9962>、アスクル <2678> などの平均 PER20 倍と比較したアルファパーチェスの数値は、株価が上昇しているだけに上方へ乖離しつつあるが、資本効率の改善は Monotaro 側への評価、つまりさらなるアップサイドポテンシャルと考えておきたい。アルファパーチェスの 2029 年 12 月期の目標は、売上高 1,000 億円、営業利益率 3.5%、ROE20% 以上である。そこから試算される EPS は 250 円程度。営業利益の CAGR は +35% であり、現状程度の PER25 ~ 35 倍から試算される株価は 6,250 ~ 8,750 円となる。資本効率が高まった数値における PER 水準の切り上がりの有無にも注目しておきたい。

株主還元では、記念配当 5 円を含む 1 株あたり配当 35 円を予定しており、配当利回りで 1.12% が予想されている。配当見通しは現時点では変更せず、通期利益見通しの確度が上がってから再検討する。

#### 重要事項（ディスクレマー）

株式会社フィスコ（以下「フィスコ」という）は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行為および行動を勧誘するものではありません。

本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したのですが、フィスコは本レポートの内容および当該情報の正確性、完全性、的確性、信頼性等について、いかなる保証をするものではありません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業への電話取材等を通じて当該企業より情報提供を受け、企業から報酬を受け取って作成されています。本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はフィスコの分析によるものです。

本レポートに掲載されている発行体の有価証券、通貨、商品、有価証券その他の金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。本レポートは将来のいかなる結果をお約束するものでもありません。お客様が本レポートおよび本レポートに記載の情報をいかなる目的で使用する場合においても、お客様の判断と責任において使用するものであり、使用の結果として、お客様になんらかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかなを問わず、いかなる責任も負いません。

本レポートに記載された内容は、本レポート作成時点におけるものであり、予告なく変更される場合があります。フィスコは本レポートを更新する義務を負いません。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、フィスコに無断で本レポートおよびその複製物を修正・加工、複製、送信、配布等することは堅く禁じられています。

フィスコおよび関連会社ならびにそれらの取締役、役員、従業員は、本レポートに掲載されている金融商品または発行体の証券について、売買等の取引、保有を行っているまたは行う場合があります。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

#### ■お問い合わせ■

〒107-0062 東京都港区南青山 5-13-3

株式会社フィスコ

電話：03-5774-2443（IR コンサルティング事業本部）

メールアドレス：support@fisco.co.jp